FINANCIAL ACCOUNTING

財務会計基礎（BS・CF編）

SAMPLE

この資料はテキスト抜粋版です。
テキスト全ページの閲覧は下記よりお申し込みください。

株式会社グローセンパートナー
https://www.growthen.co.jp/sample

name

本研修のねらい

なぜ、本研修が必要か

Point

ビジネススキルとして、財務会計の知識は必須です。財務会計の知識を得ることにより、会社や部門の経営状態を知ることができ、それに対する打ち手が描けます。本研修では、簡単な貸借対照表とキャッシュフロー計算書が読めるようになります。

本研修のゴール

Goal

① 財務諸表の構成とその関連性などを理解します。
② 貸借対照表の基本とその読み方を理解します。貸借対照表を見て、簡単な分析ができるようになります。
③ キャッシュフロー計算書の基本とその読み方を理解します。キャッシュフロー計算書を見て、簡単な分析ができるようになります。
④ 基礎的な部分について、総合的な財務分析ができるようになります。

研修を有意義な時間にするために

Memo

① 研修に積極的に参加して、グループ討議などはできる限り発言し、理解を深めるようにしてください。
② 分からないことは講師に質問して、疑問を残さないようにしてください。
③ 気分が悪い・空調が強い・スクリーンが見えにくいなどありましたら、講師・事務局まで伝えてください。
④ 携帯電話は、電源をオフにするかマナーモードにしてください。
⑤ ノートパソコン・スマートフォン・タブレット・携帯電話などの使用はお控えください。

SAMPLE

マークの説明

Point 章・ページのポイントを示しています。おおよその内容をつかんでください。

Goal 研修・章のゴールを示しています。

Memo 理解を促進するための補足を示しています。参考にしてください。

Advice 講師からのアドバイスです。

Column 研修の理解を深めるためのコラムを示しています。参考にしてください。

Exercise 演習を示しています。個人演習やグループワークで理解を深めます。

Action 研修で学んだことを実行に移す方法を示しています。

まとめ 研修・章のまとめを示しています。学んだことを再度整理しましょう。

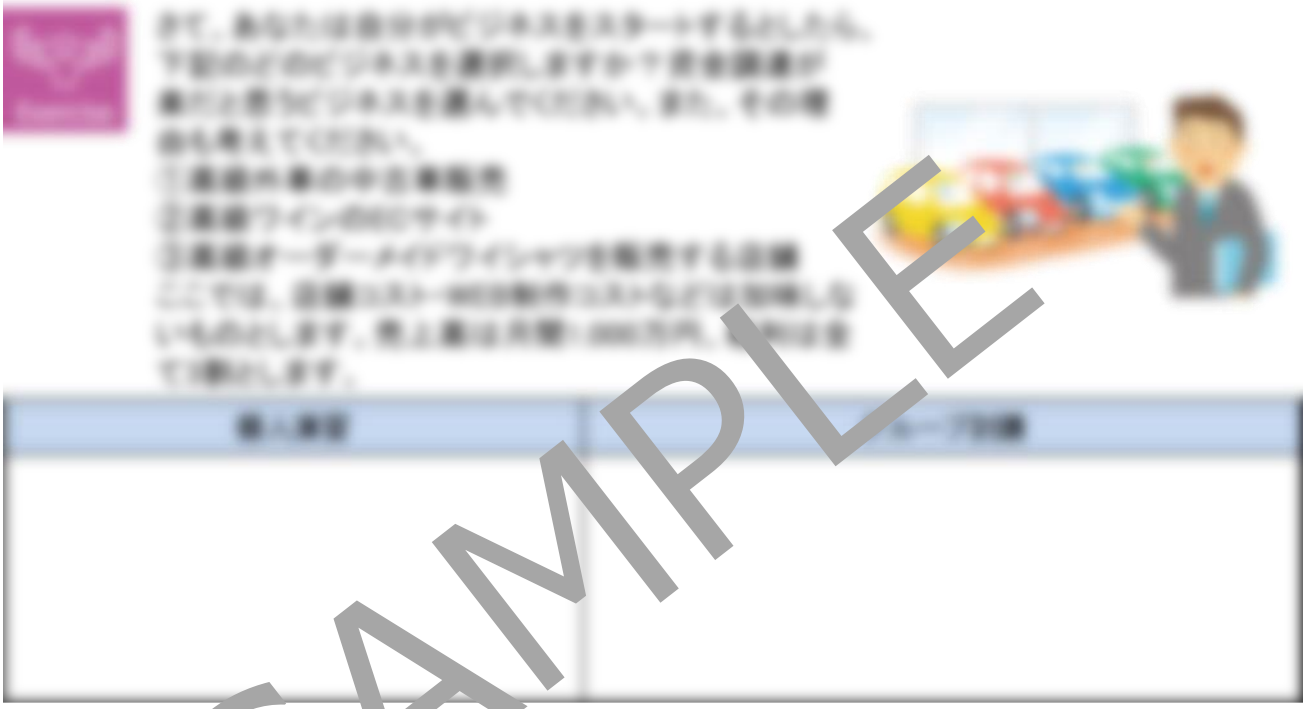
©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

ビジネスを始めよう！（アイスブレイク）①

Point

財務の知識を身につけると、どのビジネスが会計的に優れているか見極める力がつきます。キャッシュ・コンバージョン・サイクルについて、簡単な演習をしながら理解を深めます。

どのようなビジネスを始めるか？



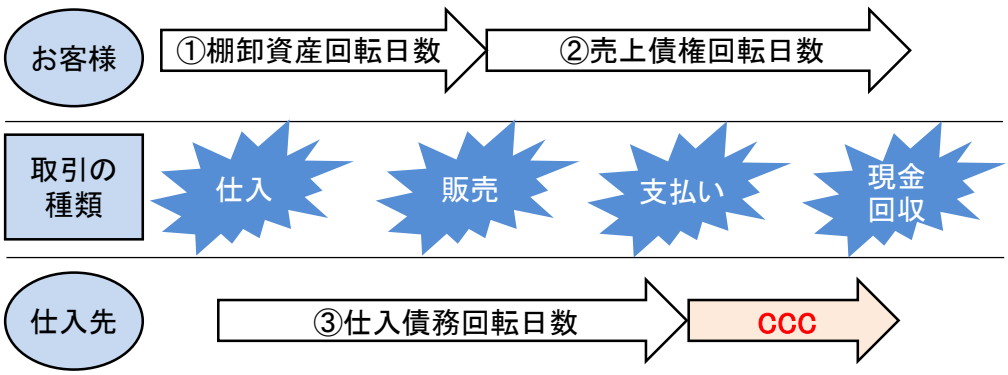
SAMPLE

キャッシュ・コンバージョン・サイクルとは

キャッシュ・コンバージョン・サイクル（以下、CCC）とは、「現金→商品→支払い→販売→現金回収」という一連の現金循環のサイクルにおける日数のことをいい、下記のように計算されます。

CCC=棚卸資産回転日数＋売上債権回転日数－仕入債務回転日数

①棚卸資産回転日数：仕入先から商品を受け取って、お客様に商品を引き渡すまでの平均的な日数
②売上債権回転日数：お客様に商品を引き渡してから、現金を回収するまでの平均的な日数
③仕入債務回転日数：仕入先から商品を仕入れて、仕入先に現金を支払うまでの平均的な日数



©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

財務諸表の基礎知識①

Point

日本における会計基準では、貸借対照表（B/S）・損益計算書（P/L）・キャッシュフロー計算書（C/S）・株主資本等変動計算書（S/S）が財務諸表と呼ばれています。そのなかで、貸借対照表（B/S）・損益計算書（P/L）・キャッシュフロー計算書（C/S）について、その関連性も含めて理解を深めます。

財務諸表とは

財務諸表とは、企業の経営状態を知るための通信簿のようなものです。企業が決算期になると、開示情報として発行します。この財務諸表を読み解くことにより、企業が健全（好調）なのか？不健全（不調）なのか？をチェックすることができます。

財務諸表というのは、大きく分けて3つの決算書からなります

①損益計算書（P/L）　Profit and Loss Statement

②貸借対照表（B/S）　Balance Sheet

③キャッシュフロー計算書（C/S）　Cash Flow Statement

がそれです。この3つの財務諸表を総称して、財務3表と言われています。 このテキストでは、財務3表の基礎を理解して、損益計算書（P/L）が読めるようになることをゴールとします。

財務諸表は誰が見るのか

財務諸表は会計基準に基づいて作成されますが、主に4つの対象者に見せることを目的としています。

【財務諸表を見せる対象者】

会計基準に基づいた
財務諸表＝決算の情報
を公開することにより
企業の信頼度が増します

信頼度が増すと、
資金調達や信用取引（買掛など）が可能になったりします

SAMPLE

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

財務諸表の基礎知識②

損益計算書（そんえきけいさんしょ）とは

損益計算書というのは、1ヶ月間、半年間、1年間という一定の期間での業績（経営成績）を表すものです。

プロフィット・アンド・ロス（P/L）とも呼ばれていて、売上高と5つの利益から成り立っています。5つの利益とは、「売上総利益」「営業利益」「経常利益」「税引前利益」「当期純利益」であり、最終的に当期純利益が会社の純利益となります。

ここがマイナスであれば、赤字となります。

貸借対照表（たいしゃくたいしょうひょう）とは

特定時点（例えば3月31日現在）の財産の状況（財政状態）を表しています。

会社が事業資金をどうやって調達してどのような形で運用しているかを表すものです。

「資産」「負債（借金）」「純資産（自己資金）」の3つに分けられます。事業資金をどうやって調達したかを負債・純資産で表し、どのような形で運用しているかを資産で表します。よって、「資産＝負債＋純資産」の関係が成り立っています。

キャッシュフロー計算書とは

キャッシュフロー計算書というのは、お金の流れで会社の実態を表すものです。

営業活動・投資活動・財務活動の3つから成り立っています。

それぞれを簡単に説明すると、営業活動は、販売や仕入れなど、本業に関わる活動を、投資活動は、工場や機械などの固定資産の購入・売却などの活動を、財務活動は、借入や株式発行など、資金調達・返済の活動のことを言います。

SAMPLE

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

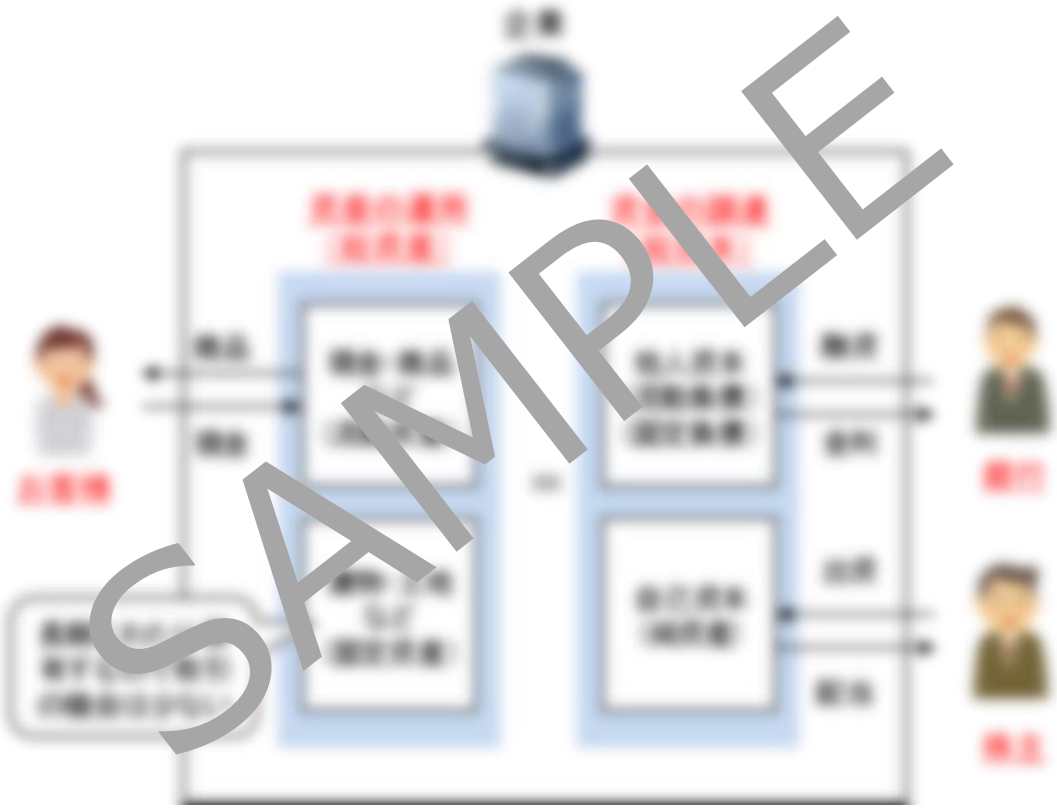
貸借対照表とは①

Point

貸借対照表の基本的な理解と、演習を通して理解を深めていきます。

貸借対照表とは

貸借対照表とは、「企業がどのようにして資金を調達し（総資本…右側）、どのように運用しているのか（総資産…左側）を表すもの」です。貸借対照表で会社の借入金や、財産を読み取ることができます。実際のビジネスでは、下記のように株主・銀行・お客様と取引しながら、B/Sが成り立ちます。



資産の運用（総資産）＝資金の調達（総資本）であり、借方と貸方が必ず一致するので、バランスシート（B/S）と呼ばれています。

【用語の解説】

〇総資本　：資本には他人資本（負債）と自己資本（純資産）があるが、この合計を総資本という。

〇他人資本　：企業が外部から資金調達した資金（銀行借入や社債発行など）を他人資本という。

〇自己資本　：企業内部で資金調達した資金（内部留保や株式による資金調達など）を自己資本という。

※他人資本は返済が必要であるが、自己資本は返済の必要がない。

〇総資産　：資産には流動資産と固定資産があるが、この合計を総資産という。

〇流動資産　：1年以内に現金化することができる流動性のある資産を流動資産という。

〇固定資産　：長期にわたり保有する資産を固定資産という。

※流動項目と固定項目は、1年以内に現金化できるかという「1年基準」、営業サイクル（現金→仕入→商品→売上→売掛→現金）内にあるのかという「正常営業循環基準」で判断する。

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

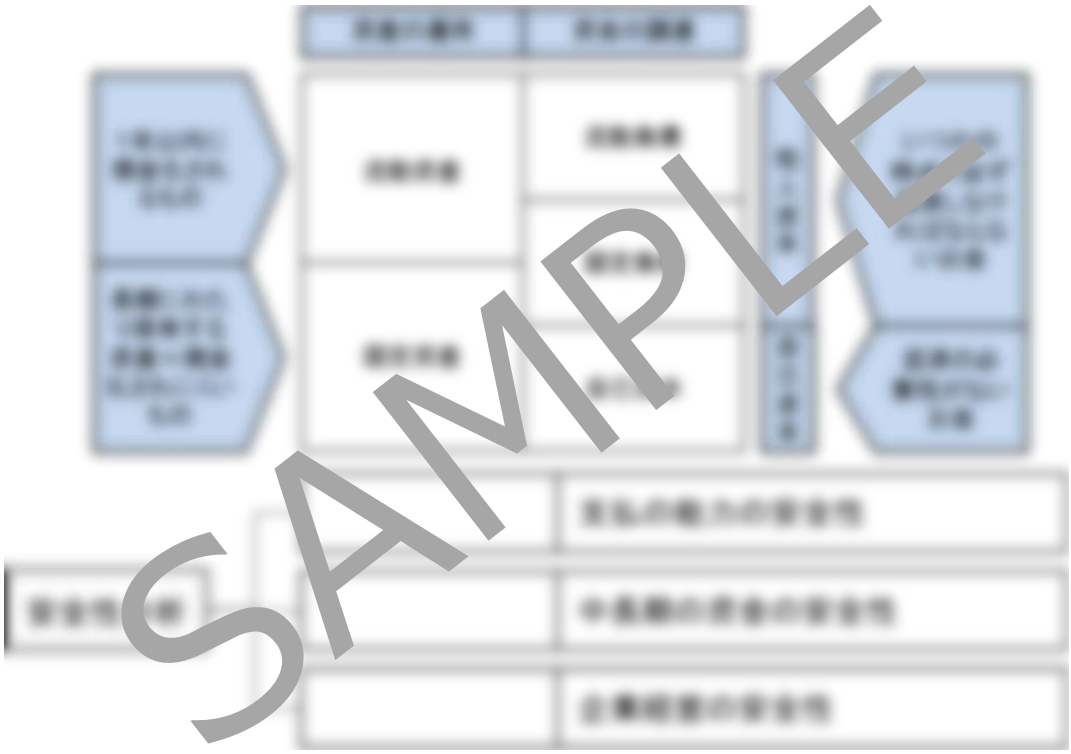
貸借対照表の分析①

Point

ここでは、貸借対照表の分析方法を学びます。安全性分析として、流動比率・固定比率・自己資本比率について学びます。

安全性の評価方法

決算書の流動負債・固定負債・自己資本・流動資産・流動負債をなどを分析することにより、企業の安全性を分析できます。これにより、企業の支払能力、倒産危険度、経営の安定性などを分析できます。代表的な安全性分析には、流動比率・固定比率・自己資本比率があります。



SAMPLE

安全性評価の演習

Exercise

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

キャッシュフロー計算書とは②

キャッシュフロー計算書の活用方法②

営業活動・投資活動・財務活動のC/Fが、プラスなのか、マイナスなのかを見るだけで、その企業がどのような状況にあるのかを見極めることができます。

キャッシュフロー計算書による経営実態の見極め

SAMPLE

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

財務分析の総合演習

安全性分析・効率性分析・CCC分析の演習

Exercise

配布する決算書を分析して、分析結果から会社の財務状況を考察し、今後の打ち手を考えてください。

	分析項目	①当社 当年度	②比較A社	③比較B社	比較A (①÷② ×100)	比較B (①÷③ ×100)
安全性分析	流動比率	%	%	%	%	%
	自己資本比率	%	%	%	%	%
効率性分析	総資産営業利益率(ROA)	%	%	%	%	%
	自己資本利益率(ROE)	%	%	%	%	%
CCC分析	CCC	日	日	日	%	%

【参考】
①総資産営業利益率(ROA)は、今回、営業利益で分析・比較します。
②CCC計算においては、下記の科目があてはまります。
ⅰ)在庫回転日数:売上債権・支払手形など
ⅱ)売上債権回転日数:商品・製品・仕掛品・原材料・貯蔵品など
ⅲ)仕入債務回転日数:買掛金・支払手形など

個人演習	グループ討議
【財務状況の考察】 例)自己資本比率が55%と高く、企業経営は安定している。	【財務状況の考察】
【今後の打ち手】 例)売上原価と販促費が高く、それぞれの削減を図る方法を考える。	【今後の打ち手】

SAMPLE

©2016 - Growthen Partner Inc. All rights reserved.

研修内製化

社内研修支援サービス

研修素材データ販売

対話型研修を実施できる研修素材をデータで提供します

1 スライドもテキストも研修素材をデータで提供

研修素材をデータで提供。テキストやスライドを編集加工して利用可能

2 新人から管理職向けまで豊富な研修コンテンツ

新入社員から管理職向けまで、30種類以上の研修コンテンツをご用意

3 経験の浅い講師でも効果的な研修が可能に

講師マニュアル付き。講師の力量や経験に左右されずに、安定的な効果を創出できる対話型研修が可能

研修コンテンツ

新入社員向け	
101	給料と評価の基礎知識
102	ビジネスマナー 動画
104	コミュニケーション（職場の人間関係を築く編）
105	コンプライアンス（法令遵守・ビジネスモラル編）
106	コミュニケーション（仕事の受け方・報連相編）
107	仕事の進め方（優先順位・PDCA編） 動画
109	新入社員スキル定着研修（体験学習・主体性発揮編）
111	自分を守るメンタルヘルス（基礎知識・自己管理編）
112	新入社員フォローアップ（振り返り・マインドリセット編） 演習動画
113	新入社員・若手社員の心の成長研修 動画
若手社員向け	
201	OJT（後輩育成編） 動画
202	ティーチング＆コーチング（後輩指導編）
203	プレゼンテーション（わかりやすい資料作成編）
204	被評価者研修（セルフマネジメント編）
206	プレゼンテーション（伝え方の技術編）
207	ファシリテーション（意見の引き出し・合意形成編）
210	ロジカルシンキング（基礎編）
301	若手社員研修（段取り力・コミュニケーション編）
303	リーダー研修（意思決定力強化編）
304	若手社員フォローアップ（レジリエンス強化編） 演習動画

中堅社員向け	
205	ロジカルシンキング（論理的思考・フレームワーク編）
208	財務会計基礎（財務諸表・PL編）
209	財務会計基礎（BS・CF編）
213	生産性の高い会議の進め方
216	企業経営論（基礎編）
302	中核社員研修（PDCA・組織コミュニケーション編）
管理職向け	
401	労務管理（基礎知識・働き方改革対応編）
402	評価者研修（目標設定編）
403	評価者研修（評価・フィードバック編）
404	部下・職場を守るメンタルヘルス（メンタルヘルスマネジメント編）
405	パワハラ・セクハラ（基礎知識・パワハラ防止法と対策編）
406	コンプライアンス（コンプライアンスマネジメント編）
407	マネジメント（組織マネジメント編）
409	マネジメント（方針策定・イノベーション編）
411	目標管理マニュアル
412	評価者研修（目標設定・評価フィードバック統合編）
420	マネジメント（方針策定・展開編） 動画
423	マネジメント（PDCAサイクル編） 動画

価格（税抜）

1コンテンツ　**１０万円**

パッケージ内容

- 受講者用テキスト（PowerPoint）
- 講師用スライド（PowerPoint）
- 講師用マニュアル（PDF）
- その他付属資料（Word, Excel, PowerPoint等）
- 動画マニュアル（PDF）※動画対応コンテンツのみ

※コンテンツによって含まれる内容が異なります。
※その他付属資料,動画マニュアルは付属しないコンテンツもあります。

お問い合わせ

サンプルテキスト閲覧のお申し込み
https://www.growthen.co.jp/sample/

購入のお申し込み
https://www.growthen.co.jp/order/

お問い合わせ
https://www.growthen.co.jp/inquiry/

2024-02-05版